

令和4年度事業報告

[I] 公益目的事業としての学術・教育研究の奨励

国立歴史民俗博物館へ 100万円

[II] 歴史民俗関係の図書等の発行・頒布

1. 国立歴史民俗博物館展示図録の発行・頒布

- (1) 企画展示「加耶ー古代東アジアを生きた、ある王国の歴史ー」
令和4年10月4日～令和4年12月11日 作成数 2700冊
- (2) 企画展示「いにしえが好きっ！ー近世好古図録の文化誌ー」
令和5年3月7日～令和5年5月7日 作成数 1150冊

2. 国立歴史民俗博物館研究報告の発行・頒布

第235集	100冊
第236集	80冊
第237集	120冊
第238集	80冊
第239集	100冊
第240集	80冊

3. 企画展示図録『中世武士団』増刷 400冊

[III] ミュージアムショップの事業

- 商品の仕入・販売
- 販売するグッズ等の開発及び販売促進等
- 全国の歴史系博物館図録等の販売 (当館へ委託 118館 981種類)
(当館から委託 19館 100種類)
(書店 2店)
- オンラインショップの運営

[IV] 友の会事業の実施

1. 「友の会ニュース」の編集・発行・配付（年6回・隔月）

（維持会員・普通会员には、『REKIHAKU』を特典として配布3回）

2. 歴博映画の会（友の会協力事業）

（1）8月20日 第37回 祭祀芸能の音風景を見る

参加者 52名 解説：春日 聡先生

（2）1月21日 第39回 沖縄県宮古島の手わざと歌わざ

参加者 74名 解説：内田 順子先生

3. 講演会

（1）館長特別講演会

1月28日 『豚と帝国』－中国の豚たちの1000年物語－

参加者 62名 西谷 大館長

（2）友の会講座（対面・オンライン）

5月23日 正倉院文書の周辺（オンライン）

参加者 21名 三上 喜孝先生

6月30日 中世と現代

参加者 44名 小島 道裕先生

7月6日 博物館における来館者調査（オンライン）

参加者 15名 小瀬戸恵美先生

8月2日 ここまで変わった歴史資料 - デジタルアーカイブの世界 -（オンライン）

参加者 27名 後藤 真先生

9月28日 鎌倉・南北朝の武家社会における『源氏嫡流』意識

参加者 40名 田中 大喜先生

10月31日 加耶 - 古代東アジアを生きた、ある王国の歴史 -（オンライン）

参加者 57名 高田 貫太先生

11月16日 東アジアの国際交流のなかにみえる加耶

参加者 49名 上野 祥史先生

12月21日 加耶と倭の武器と武具－機能とデザイン（オンライン）

参加者 31名 松木 武彦先生

1月30日 国葬と社葬（オンライン）

参加者 40名 山田 慎也先生

2月20日 ジェンダーから考える民俗宗教 - 沖縄県宮古島の場合 (オンライン)

参加者 31名 内田 順子先生

3月7日 文化資源とアートプロジェクトー民俗文化の新たな活用に向けてー

参加者 27名 川村 清志先生

(3) 古文書講座

毎月1回 第4水曜日 前期全6回 受講者41名 天野 真志先生

後期全6回 受講者47名 天野 真志先生

(4) 展示解説会 (オンライン開催)

4月30日 企画展示 中世武士団 - 地域に生きた武家の領主 - 参加者32名

国立歴史民俗博物館准教授 田中 大喜先生

胎内市役所参事 水澤幸一氏

小城市文化課副課長 田久保佳寛氏

益田市歴史文化研究センター主任 中司健一氏

7月25日 特集展示 亡き人と暮らす - 位牌・仏壇・手元供養歴史と民俗 -

参加者 27名 山田 慎也先生

4. 会員の会員による見学会

(1) 6月28日 義民ロードと麻賀多神社を歩く 参加者 21名

(2) 9月28日 八千代市村上・萱田の伝説と信仰をたずねる 参加者 23名

(3) 11月16日 雪月花。日暮の里・谷中を歩く 参加者 21名

(4) 1月16日 博物館初詣 明石町・築地に文明開化の事蹟を訪ねる

参加者 23名

(5) 3月28日 江戸期行徳の賑わいを偲ぶ 参加者 20名

5. 自主学習会

(1) 近現代史読書会

(2) 近世史読書会

(3) 古代の東国探訪学習会

(4) 古文書学習会

(5) 旅と街道学習会

(6) 日本の民俗を訪ねる学習会

- (7) 総合展示物学習会
- (8) 日本の先史・古代を考える
- (9) 日本の中世を探求する

[V] その他の事業

1. 広報・宣伝、販売促進事業

- (1) Twitter <https://twitter.com/haniwasky>
- (2) Instagram <https://www.instagram.com/rekihakushop/>